

成果の説明書

(氏名) 服部 昌彦	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <ul style="list-style-type: none">・学術雑誌 Manchester School より投稿論文 “Advertising in an oligopoly with differentiated goods under general demand and cost functions: A differential game approach”の改訂要求を受ける 動学モデルを使った企業の広告投資に関する論文であり、レフェリーのコメントは論文構成の変更と数値例の追加であったため、コメントに従った修正を行い再投稿した。・学術雑誌 Journal of Economics and Management に投稿論文 “A differential game analysis of free entry oligopoly with sticky price” が掲載・学術雑誌 Journal of Economics and Management に投稿論文 “Divisibility of Labor Supply and Involuntary Unemployment: A Perfect Competition Model” が掲載 賃金の下方硬直性を仮定せずとも非自発的失業が存在することをモデル分析によって示した。分析には Overlapping generation model を使い、完全競争市場を仮定して消費者の効用最大化と企業の利潤最大化を用いた分析を行った。・学術雑誌 OPSEARCH より投稿論文 “Dynamic analysis of R&D in an oligopoly under general demand and cost functions” の改訂要求を受ける 動学モデルを使った費用削減投資に関する分析であり、市場の企業数が増えると各企業の費用削減投資が減少することが示されている。一方で、企業数が増えると産業全体の費用削減投資合計は増加することが示されている。レフェリーのコメントに従い、論文を改訂し再投稿した。	
<p>2 その他の事項</p> <ul style="list-style-type: none">・学術雑誌 Manchester School のレフェリー審査を行う・ラジオゼミナール企画にて RADIO TAKASAKI に出演 企業の価格戦略に関する説明を行った。・高等学校での出前授業を実施（茨城県 日立市） 『「イノベーターのジレンマ」の経済学的解明』伊神 満著 日経 BP の概要を講義した。 業界トップ企業がイノベーションを起こせないジレンマの理由を理論的、実証的に説明し、ジレンマの解明と経済学的評価に関する説明を行った。・実証産業組織論に関する学習 需要関数、費用関数の推定に関する最新の研究を読み解き、推定に関する基礎的な知識を身に着けた。	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <ul style="list-style-type: none">・学術雑誌 Journal of Industry, Competition and Trade に学術論文 “A differential game analysis of R&D in oligopoly with differentiated goods under general demand and cost functions: Bertrand vs. Cournot” を投稿する	